

# 室蘭

MURORAN

平成27年度合同祝賀会

日時：平成27年11月7日 18:30～

場所：ホテルサンルート室蘭

本年度、様々な功労賞、お祝いを受けた先生の合同祝賀会が開催された。本年度は12名の被表彰者がお越し下さり、多くの会員の先生がお祝いのため出席された。三浦総務部長の司会により被表彰者が紹介された。当日、会長が公務のため欠席であったため飯淵副会長より、一人ひとりに記念品の贈呈、祝辞があった。

被表彰者の代表として室蘭市功労者表彰 公益功労 授けられた工藤 寛 先生より謝辞があった。由川 一 先生の声高らかな乾杯で宴は始まり、宴は



大いに盛り上がった。また、宴中、今年で退職する室蘭事務局の須川 素子様と佐々木美智子様から挨拶があり、長年にわたり当会をサポートして下さった2名の労をねぎらった。

金子光則先生の万歳三唱の後、新田 泉 専務の閉会の辞で宴を締めました。(森勝彦 記)

デンタルタウンミーティングおよび社保講習会  
日時：平成27年11月14日 14:30～

場所：室蘭会館 斎藤記念講堂

平成27年11月14日 デンタルタウンミーティングおよび社保講習会が開かれた。社保講習会は道歯理事後藤伸司先生により、指導監査状況に始まり、指導大綱、療養担当規則、カルテ記載の充実、実際の指導例など丁寧な指導説明があった。

デンタルタウンミーティングでは道歯専務理事大西良近先生の開会の挨拶で始まり、道歯会長



藤田一雄先生から今後の北海道歯科医師会における当面の課題 - 会員第一義の評価される会務運営 - と題した項目を話された。室歯会長多田中央先生の挨拶では、藤田会長が来蘭された当日の天

候が雨だったことと、過日の野球大会での悪天候をかけて会場を笑いで和ませた。

道歯副会長西 隆一先生の挨拶で閉会した。閉会后、懇親会が催され、美味しい中華料理と紹興酒で親睦を深めた。(森勝彦 記)

北海道歯科衛生士会室蘭支部

設立10周年記念 特別講演会

日時：平成27年10月17日 13:30～

場所：室蘭市市民会館2階会議室

主催：北海道歯科衛生士会室蘭支部

共催：室蘭歯科医師会

10月17日 に学術講演会が室蘭市市民会館で開催された。本講演会は北海道歯科衛生士会室蘭支部の創立10周年記念特別講演会で室歯会学術講演会との共催であった。歯科医師、歯科衛生士、介護職を中心とした医療関係者約120人が参加した。製鉄記念室蘭病院訪問リハビリセンター言語聴覚士の佐久間美香先生が「常食を食べられるようになるまで - 寝たきり認知症の方へのアプローチ -」、漢仁礼札幌西円山病院歯科診療部長の藤本 隆士先生が「高齢者の摂食嚥下障害と口腔ケア」について、それぞれ講演された。

佐久間先生は、歯科的な視点とはかなり異なる視点からの介入について講演され、藤本先生からは、加齢に伴う機能低下は避けられないため、元気づけから対策が必要と解説があった。今までは、摂食嚥下障害などが出現してから口腔ケア等の対策に目が行きがちであったが、両講演とも今後はできるだけ機能低下を回避するように事前に予防策を講じる重要性があると認識させられた講演会だった。

(堅田裕 記)

# 岩見沢

IWAMIZAWA

福祉厚生部R&Rライブショー

日時：平成27年11月13日 20:00から

場所：ストロベリージャングル

演奏バンド：Johnny & The Rockets

今年の福祉厚生部主催親睦事業として、市内のライブハウスに岩歯会員とスタッフその他を集め、1950年～1960年代のロックンロールやOldiesを演奏する、プロによる2時間のコンサートを行った。途中、福祉厚生部部長の中塚 尚 先生も登場して「スタンドバイミー」を唄い、喝采を浴びた。オールドブルとフリードリック付きだったが、コンサート終了後に自分が歌いたくなったとしてカラオケスナックに流れた会員が相当数いたようだった。

(久恒泰宏 記)



第2回岩歯親睦麻雀大会観戦記

日時：11月14日 15:00から

場所：とんかつ富司

「とんかつ富司」麻雀ルームにて標記の大会を8名(健谷、福島、九津見、諸橋、勝木、永山、佐々木規雄、山田 貴、敬称略)の雀士の参加で開催。3回戦制にて行った。2回戦を終了した時点で前回優勝の勝木先生が、2位に約2万点差をつけてトップ。2連覇なるかと思われたが、開始直後の諸橋先生のハネ満直撃などで接戦に。一進一退の息

詰まる展開も、最後はオースにて佐々木規雄先生が上がり、逆転トップになり優勝となった。2位には諸橋先生、3位には九津見先生が順位を上げて入った。

終了後、懇親会にて表彰・景品のお米・野菜の授与を行った。懇親会は大会を振り返り、麻雀談話やなかなか上がれなかった流れ10本場、麻雀ができる喜びで、前夜眠れなかったという某先生の発言などもあり、大いに盛り上がった。最後は優勝者の佐々木先生の乾杯にて終了となった。

その後、麻雀大好きな何人かの雀士は再び12時過ぎまで麻雀を楽しんだとのこと。また、来年に第3回を行いたいと思いますので、多くの先生の参加をお待ちしております。(山田貴文 記)

保険勉強会 in 岩見沢 & 三笠

日時：平成27年12月1日 19:30から

場所：岩見沢市生涯学習センターいわび

保険部の清水 学・山口友隆先生が、各地で勉強会を開くこの企画も最終盤を迎えた。『突合点検・

縦覧点検・算定日記帳』について、時折出席者からの質問に答えながら解説。「審査が厳しくなったわけではなく、今までチェックできなかった算定の誤りがチェック可能になっただけであり、診療報酬への理解をより深めて無駄な査定・返戻を避けて欲しい」と述べ、逆に算定可能なのに忘れられがちな項目も紹介された。株式会社ジーシー担当者による『ファイバーポスト』の紹介が冒頭にあり、出席者は約30名だった。(久恒泰宏 記)



# 美唄

BIBAI

平成27年度 社会保険講習会

日時：平成27年11月18日 18:30～20:00

場所：美唄ホテルスエビ

講師：北海道歯科医師会 常務理事 中川英俊先生  
理事 近藤豊一先生

今回の講習会では、最近の指導・監査の状況から指導大綱の解説、さらにカルテ記載のポイント、



また種々の提供文書の記載例や必要な院内掲示の例などについて療養担当規則の解説と照らし合わせながら詳しく説明いただきました。

特にカルテ記載に関しては、日々の治療行為の過程、経緯(プロセス)を正確に記録するSOAP式による記載が「法的に耐える」「己自身の身を守る」カルテ作成の鍵となることを様々な実例をもとに解説いただいた。

昨今の患者側の知識、権利意識の拡大は増大する傾向にあり、診療する我々も認識を改め、その変化に柔軟かつ的確に対応することが求められる。同時に療養担当規則をしっかり理解して遵守することが、保険医が保険診療を行ううえで最も大切なルールであることを忘れてはならない。

(滑川貴彦 記)

三師会講演会「歯とお口の知識どこから得る？」

日時：平成27年11月25日 15:00～

場所：コアびばい

標記で - マで毎月の三師会主催医療関係者による講演会が行なわれた。

今月の当番は小生で、開始以来2巡目である。(歯科は、6月と11月の2回担当している)

大部分の視聴者が年配の皆さんには若干意欲的すぎたかもしれないが、話の前段としては、日歯HPの「8020歯TV」が高齢者向けにも豊富な動画があるのでご紹介した。

すなわち、誤嚥性肺炎や認知症と歯科についてなどである。後段の内容は、日常生活に無線LANのWiFiシステムを取り入れる利便性についてご紹介し、特に長崎県、山梨県の郵便局において、iPad無償貸与、通信料無料サ・ビスの試みの将来性と自治体相乗りの動きについて、さらに詳しい知識が必要の際は、YouTubeで調べたり、テレビ東京の「ビジネスオンデマンド」のサ・ビスを受けたりすることが、実にタイムリーであり、生活を豊かにするので



はと、僣越ながらご提案した。(小森英世 記)

大坪義和先生市政功労賞受賞  
氏は、謙虚にして大しく、出しゃばるることが嫌いな性格なので、本来当会の会長職を任せてもおかしくない能力を持ちながら、縁の下の力持ちで副会長、専務理事等を歴任してこられた。

しかし「継続は力なり」であって、長年にわたる種々の忍耐強い役割に当会の会員諸氏が大いに賛同し、おりしも本年度の社保講習会での懇親会の席での皆さんの感謝の拍手となった。

今後ともよろしくご指導お願い致します。おめでとうございました。(小森英世 記)

# 旭川

ASAHIKAWA

岩田谷 隆 先生

北海道社会貢献賞受賞

平成27年11月7日、

北海道歯科医師会館にて、

当会の前副会長としての岩田谷 隆 先生が

北海道社会貢献賞を受賞されました。この賞は、

永年にわたり、歯科医師として

地域住民の医療の確保や保健衛生、健康管理に

尽力し、その功績が



顕著だと認められたものです。当日は、山谷吉宏副知事より贈呈していただきました。これからの岩田谷先生のさらなるご活躍をご祈念いたします。(詫摩宏廣 記)

社労士セミナー  
平成27年11月14日 午後4時より、旭川歯科医師会館にて、医療管理調査部主催のセミナーが開催されました。

今回は行政書士・特定社会保険労務士の東海林 薫先生をお招きし、労務管理上の就業規則のルールなど「教えたくない社労士のノウハウ」と題して講演していただきました。次にくる労働法制の改正によって雇用環境はめまぐるしい変化を伴い、労使間のトラブルは、毎年10万件を推移しており、就業上の様々なリスクを特定、認識し、管理することが大切であること、そのため、マネジメント・システムの要となる就業規則をはじめとするルールブックが必要であり、労務管理の基礎講座、採用から退職時までの就業規則の作成、監督官庁の対応について講演され、最後にマイナンバーについてどう

対応していくかも教えていただきました。患者さんの治療にはかり専念して、こうしたルールブック作りを怠りがちな我々歯科医師にとって、これからも継続的に教えていただきたい内容でした。講演終了後も個別に相談される先生が列をなしていたのが印象的でした。(小倉一也 記)



# 稚内

WAKKANAI

社保講習会

日時：平成27年11月14日 午後3時半～

場所：稚内総合文化センター 会議室

道歯常務理事 井谷秀朗先生による社保講習会が開催された。配布資料にもつき、平成25年度の指導・監査の実地状況について、歯科界を取り巻く環境の変化、療養担当規則の改定について説明していただいた。さらに、法的に耐える診療録(SOAP式)記載の充実について詳しい解説がなされた。また、保存資料や提供文書の記載についての注意事項など、日頃から整理しておくべき事

項についての説明があった。カルテ記載の重要性や資料などの整理整頓の重要性を再確認した講習会であった。(三浦佐和子 記)

